

○邑楽町議会傍聴規則

昭和57年12月27日

議会規則第2号

改正 平成15年2月12日議会規則第1号

改正 令和3年11月26日議会規則第2号

(目的)

第1条 この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第130条第3項の規定に基づき、傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴席の区分)

第2条 傍聴席は一般席及び報道関係者席に区分する。ただし、傍聴席の関係により当分の間これを区分しないものとする。

(傍聴人の定員)

第3条 傍聴人の定員は、30人とする。

(傍聴の手続)

第4条 会議を傍聴しようとする者は、所定の場所で自己の住所、氏名及び年齢を傍聴人受付票に記入しなければならない。

2 傍聴席への入場は、先着順とする。

(議場への入場禁止)

第5条 傍聴人は、議場に入ることができない。

(傍聴席に入ることができない者)

第6条 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 銃器、棒その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者
- (2) 張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼり、垂れ幕、かさの類を携帯している者
- (3) 鉢巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は携帯している者
- (4) ラジオ、拡声器、無線機、マイク、録音機、写真機、映写機の類を携帯している者。ただし、第9条の規定により、撮影又は録音することにつき議長の許可を得た者を除く。

- (5) 笛、ラッパ、太鼓その他の楽器の類を携帯している者
  - (6) 酒気を帯びていると認められる者
  - (7) 異様な服装をしている者
  - (8) その他議事を妨害することを疑うに足りる顕著な事情が認められる者
- 2 議長は、傍聴人に対し係員をして前項第1号から第5号までに規定する物品を携帯しているか否かを質問させることができる。
- 3 議長は、前項の質問を受けた者がこれに応じないときは、その者の入場を禁止することができる。
- 4 児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることができない。ただし、議長の許可を得た場合は、この限りでない。

(傍聴人の守るべき事項)

第7条 傍聴人は、傍聴席にあるときは、次の事項を守らなければならない。

- (1) 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑し、その他騒ぎたてないこと。
- (3) 帽子、外とう、えり巻の類を着用しないこと。ただし、病気その他の理由により議長の許可を得たときは、この限りでない。
- (4) 飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 携帯電話、スマートフォン、タブレット端末その他の通信機器の音が発生しないよう設定するか(通話を含む。)又は電源を切ること。
- (6) みだりに席を離れ又は不体裁な行為をしないこと。
- (7) 前各号に定めるもののほか、議場の秩序を乱し、又は会議の妨害となるような行為をしないこと。

(傍聴人の退場)

第8条 傍聴人は、秘密会を開く議決があったときは、速やかに退場しなければならない

(写真、映画等の撮影及び録音禁止)

第9条 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に議長の許可を得た者は、この限りでない。

(係員の指示)

第10条 傍聴人は、全て係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第11条 傍聴人がこの規則に違反するときは、議長は、これを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 邑楽町議会傍聴人取締規則（昭和30年規則第14号）は、廃止する。

附 則（平成15年議会規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和3年議会規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。